

平成30年度 難病医療従事者 基礎 研修会

開催日：平成30年6月21日（木曜日）
場 所：山口グランドホテル（鳳凰）
参加者：160名



H30.6.21 難病医療従事者基礎研修会



山口県の難病対策について



山口県健康増進課精神・難病班

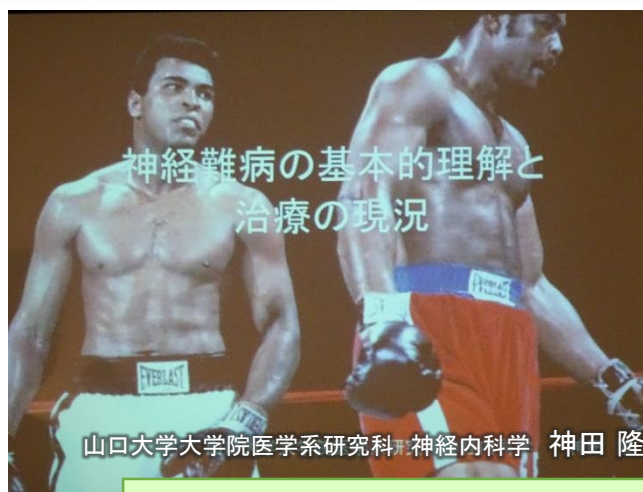


- ・県の対策が全体的に把握できました。
- ・学ぶ機会のなかった、制度や事業を知ることができ、どこに相談したらよいかわかりました。
- ・事例を通して、自分の関わりを見直すことができました。

参加者のひとこと



- ・とてもわかりやすいお話しで、理解を深めることができました。
- ・新薬ができ、研究も進んでいて、治ることも夢ではないと感じました。
- ・社会的関心を得ることの重要性や、経済的な問題なども知ることができました。



神経難病の基本的理解と治療の現況

山口大学大学院医学系研究科 神経内科学 神田 隆

山口大学医学部附属病院 難病対策センター主催研修 難病研修会
2018621 in 山口グランドホテル

筋萎縮性側索硬化症患者へのコミュニケーション支援

～ コミュニケーション支援機器を中心に～



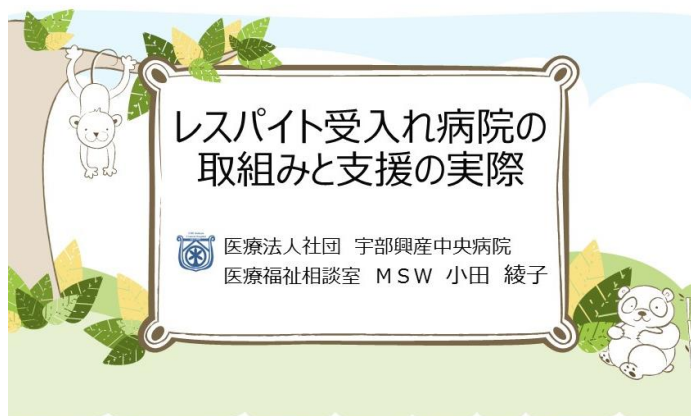
YIC リハビリテーション大学校 専任教員
山口県立大学大学院 健康福祉学専攻
山口県難病相談支援体制整備事業
難病対策地域協議会 委員
作業療法士 濱本 尊博



- ・実際に患者さんが使用している様子を、動画で見ることができ、とても参考になりました。
- ・患者さんに合った装置の工夫が大切で、作業療法士の早期からの介入を、提案したいと思いました。



- ・今まで病院の実情を知らなかったのが、問題点を具体的にイメージできました。
- ・レスパイト入院の病棟の開拓、他病院との連携やケアの統一など参考になりました。



レスパイト受入れ病院の取組みと支援の実際



医療法人社団 宇部興産中央病院
医療福祉相談室 MSW 小田 綾子